

福岡県居合道連盟

第016号

平成19年11月1日発行
発行人 迫野 康雄
(社)福岡県剣道連盟居合道部
<http://iai.riai.info/>
〒807-0842
北九州市八幡西区永犬丸東町 3-16-13
Tel:093-612-1512
編集人 上田 武尚

はじめに

本年度の居合道最高の大会である第42回全日本居合道大会が、秋晴れの岡山県桃太郎アリーナで盛會に開会された。我が福岡県選手団も万全を尽くして望んだが結果は今一歩のところであった。しかし、実力に大きな差があったのかと言うと、そんなに差を感じられなかったと思う。各県それぞれ選りすぐれた選手が十分に稽古を積んで大会に乗り込んできている。福岡県の選手達も6月より毎週日曜日、錬成会を積んで来た。又、家族や勤め先の応援・支援を受けながら一生懸命頑張ってきた。其中で、抜きん出るには何が必要か？何が不足であったか？を県連居合道部全体でよくよく反省し次に繋げて行きたい。選手、候補選手もこれで終わりではなく、この経験を無駄にしないで肥やしにして、更に稽古を重ね、いつか大きな花を咲かして戴きたい。

主な出来事

10/20 第42回全日本居合道大会

岡山県桃太郎アリーナ

『指定技』

1回戦～4回戦 準決勝・決勝戦
4本目「柄当て」 2本目「後ろ」
6本目「諸手突き」 9本目「添え手突き」
11本目「総切り」 10本目「四方切り」

五段六段七段共、上記技で試合が行われた。

【試合結果】

五段の部 松坂選手

- ・一回戦 不戦勝
- ・二回戦 一回戦栃木の荒川選手を破った新潟の井垣選手と対戦
1-2の僅差で敗退

六段の部 世利選手

- ・一回戦 岐阜の八つ崎選手と対戦
3-0で勝利

- ・二回戦 山形の中川選手と対戦
2-1で勝利

- ・三回戦 千葉の秋葉選手と対戦
0-3で敗退

七段の部 國方選手

- ・一回戦 北海道の松橋選手と対戦
1-2の僅差で敗退

観戦記

午前9時半 各段一斉に試合が開始された。我が福岡県の一番手は六段の部出場の世利選手11試合目であった。対戦は岐阜県代表八つ橋選手。やや緊張気味の滑り出しであったが、落ち着いた試合運びで3-0の勝利。つづく二番手は14試合目の七段の部國方選手。対戦相手は北海道の松橋選手。國方選手の演武は稽古通りの演武に見えたが、旗が赤1白2と拳がったとき一瞬福岡県の応援席からどよめきが上がった。三番手の五段の部松坂選手。一回戦不戦勝であった為二回戦より出場。相手は新潟県代表の今井選手。相手は一回戦を勝ち上がって来た為若干の余裕が見えた。松坂選手も落ち着いた演武で勝敗が注目されたが、赤1白2となり敗退した。六段の部世利選手は二回戦山形県代表の中川選手と対戦し2-1で勝利。三回戦は一昨年優勝した千葉県代表の秋葉選手。観客席からは互角の勝負と見えたが、判定は赤3白0であった。

残念ながら本勝負をもって福岡勢は全て敗退が決まった。此の後、各段共決勝戦まで素晴らしい試合であった。収穫は、どの選手も教則本に忠実である。下半身が安定している。眼前の敵を捕らえ、抜きつけ斬りつけを行っている。等等... 素晴らしい人の技前を直に見ることの大切さが改めて感じられた。



開 会 式



松 坂 選 手



世 利 選 手



國 方 選 手

11/12 月の予定

- | | | |
|-------|-----------------|-------|
| 11/10 | 教士称号筆記試験 | 福岡武道館 |
| 12/9 | 居合道部錬成会 | 糟屋ドーム |
| 12/23 | 居合道段位審査会（六段・七段） | 東京都 |